

2014年8月3日 (日)
13:30~17:00

日本語学習辞書科研

第7回 全体研究集会

【会場】

筑波大学
総合研究棟A 110
バス停「筑波大学中央」
より徒歩 1分

【懇親会】

18:00~20:00
会場:らしく
会費:4500円

【プログラム】

13:00 開場

13:30-14:15 高原真理(筑波大学)
「日本語基本形容詞類義語リスト」作成の試み

14:25-15:10 石塚直子(筑波大学大学院)
語釈を書く —辞典編集現場の指導と各語の調査結果から—

<特別講演> 15:30-17:00

矢澤真人(筑波大学)

名詞による文型制約と作文支援型学習国語辞典開発の試み

国語教育における作文指導において、自分の書いた文章の「推敲」は推奨されるが、実際にどのように直せばよいかわからない児童は少なくない。「私のお父さん→私の父」のような単語の選択に関わる問題は、類語辞典を活用すれば解決できることが多いが、類語辞典の操作に慣れていない小学生には、それも困難である。特に、「?僕の夢は医者になりたい」「?この金属の性質は熱で元に戻ることだ」のような文型に関わる問題は、使用文型がまだ限られている児童にとっては、解決が困難で、そのまま文章に残されてしまう可能性も高い。

このような課題に対して、小学生が使用する学習国語辞典に、文型情報など、作文を支援する情報を掲載することで解決を図ろうとしている(科学研究費基盤研究(B)「作文を支援する語彙・文法的事項に関する研究」)。

今回の講演では、日本語研究の観点からも注目される「名詞による文型制約」について簡単に紹介した後、学習国語辞典を開発することの意義や、単語に掲載すべき作文支援情報とはどのようなものか、対象となる単語にはどのようなものがあるか、等について話題を提供する。この過程で、日本語教育との連携についても考えていきたい。

主催: 科学研究費補助金基盤研究(A)「汎用的日本語学習辞書開発データベース構築とその基盤形成のための研究」プロジェクト(代表:砂川有里子)

協賛: 筑波大学人文社会学系ブレ戦略イニシアティブ「日本語日本文化発信力強化研究拠点形成」

<参加申込み> <http://jisho.jpn.org/> → 研究集会 → 申込みフォーム 締切: 7/27(日)